

子どもの思考・活動	教師の支援と評価(☆)
<p>とらえる</p> <p>1、写真が何を育てるためのものか考える。 2、資料のタイトルから、自分たちが口にしているエビがどこで作られているかクイズに答える。 ○日本で食べられているエビは、どこで作られているものが多いでしょう。</p>	<p>えびの養殖場の写真を提示</p> <p>多くのえびは輸入されていることに気付かせる</p> <p>自分をふり返る段階への布石とする。</p>
<p>2、資料を読み、考えを発表する。 ○大きなえびを食わせてもらえなかった「わたし」はどう思ったでしょう。 ・ どうして食べさせてくれないのだろう。 ・ すごく大切なえびなんだな。</p> <p>○食へ残されたえびを見て、「わたし」はどんな気持ちになったか、ワークシートに書きましよう。 ・ もったいない ・ せっかく育てたえびなのに ・ 何でのごすんだ！</p> <p>○パーテーターの出席者に声をかけるとしたら、何と言いますか。 ・ ちゃんと食へようよ ・ 残したらダメ</p> <p>3、自分をふり返る</p> <p>○自分たちの普段の給食の様子を考えてみよう ・ 汚い ・ 残しすぎだ ・ パーテーターの人たちと同じだ…</p>	<p>☆食へ物の大切さを考えることができたか</p> <p>※理想論を言わせたい。</p> <div data-bbox="929 965 1086 1292" style="text-align: center;"> <p>現実との ギャップ</p> </div> <p>食へ残し、汚れた食器などの実態を写真で見る。</p> <p>自分のことをしっかりとふり返れるようにする。</p>
<p>見つめる</p> <p>4、給食調理場の方の手紙を聞く。 5、北海道新聞「あとわずか給食に感謝」を読む。 ○授業の感想を書き交流しよう。</p>	<p>「食へ残しをしない」ではなく、苦手な食へ物でも一口でも多くチャレンジする姿勢(自分の弱い心と向き合うことの大切さ)を認めるような内容にして頂く。→節度・節制</p> <p>☆働く人の苦労を考え、給食センタ－の方々に対する感謝の気持ちが高まり、一口でも多く食へようという思いが見られるか。</p>

